(3) 各階平面計画

厳粛で機能的な斎場を実現する平面計画

■ 葬家同士の交錯を防止

◎ 待合ゾーンの2ゾーン化

待合ゾーンを左右に分け、左右交互に利用することで、待合ゾーンの混雑度を半減させ、待合廊下での葬家同士を交錯させない調整をしやすくする。

◎ ダブルコリドール

エントランスホールは化粧壁で2分し、2つの通路があるダブルコリドールとする。各葬家が同時移動、交互通行でき、交錯なく移動できる。交錯防止のための葬家の待ち時間がなくなり、スムーズかつ厳粛に儀式を執り行うことができる。

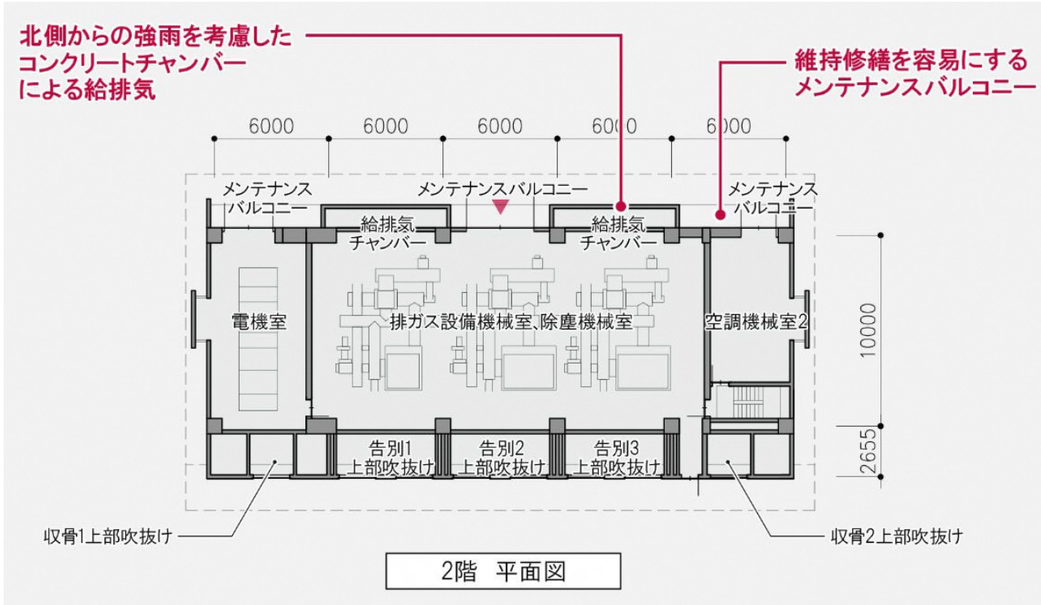
■ 効率的な管理動線

◎ ゾーンを明確に分ける

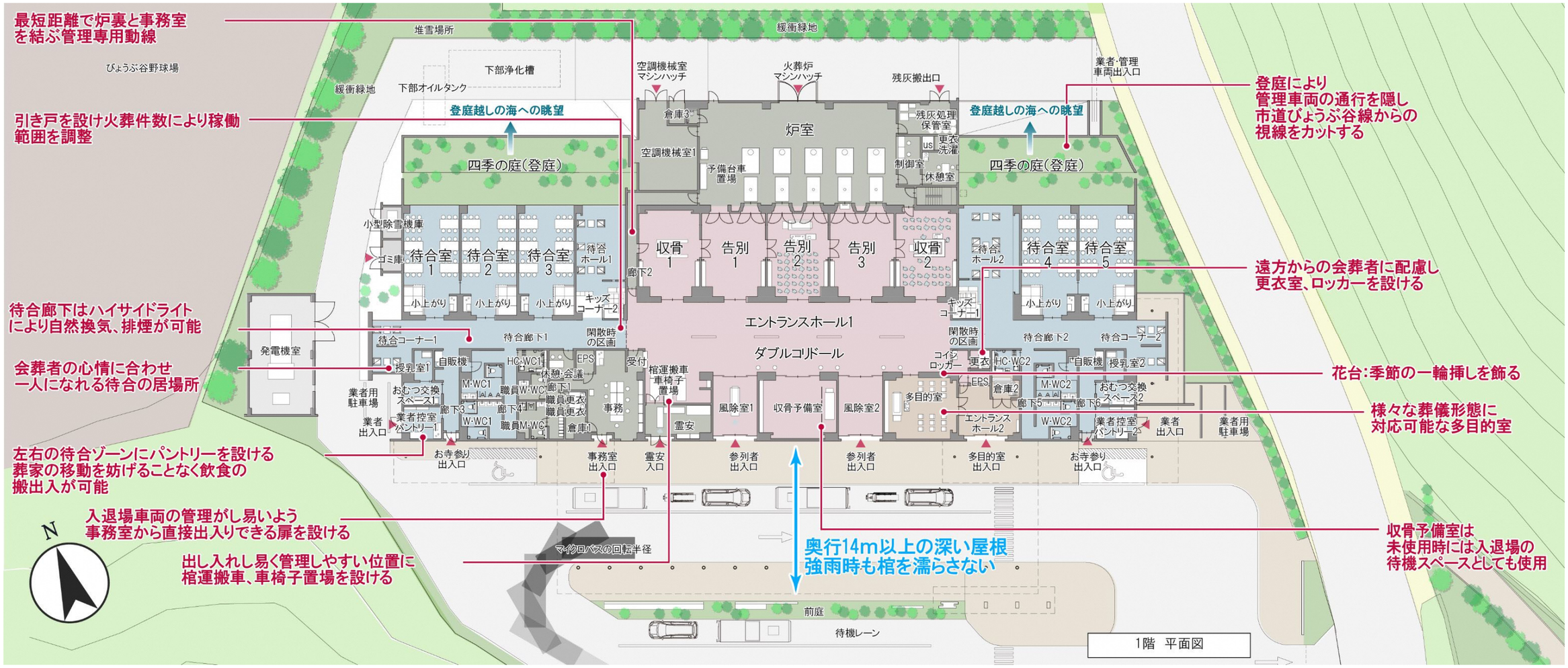
管理の諸室と儀式のゾーンを明確の分け、炉裏のゾーンと事務室を最短距離でむすぶことで、葬家の移動を妨げることなく効率的な運営を可能とする。

◎ エントランスに隣接した事務室

事務室は窓から車寄せの車両を目視でき、入退場車両の調整がし易いように事務室から車寄せへ直接出入りできる扉を設ける。また、受付からはダブルコリドールが見渡せるようにする。



2階　平面図



1階　平面図